

【要旨】

項目	発言者	内容
	事務局	ご多忙のところお集まり頂き、ありがとうございます。第5回専門部会を開催いたします。
	委員	交流の基地を設けることは必要なことではあるが、非常に大きな取り組みであるため、まずは情報発信から始めていくことはどうだろうか。
	委員	アーニスのホールや空き店舗を活用する場合は費用が発生してしまうし、公共施設は個別の企業の営利活動の宣伝には活用することが難しいだろう。
	委員	現実的には、マップを作成して市内各地に来てもらうということだろう。観光地に行ったときにその地域の情報を知ることができれば、各地に足を伸ばす機会が増えるだろう。情報発信から取りかかるのが一番現実的ではないか。
	委員	中小企業振興に関する条例をもとに、中小企業者への後押しとなる提言を提出するという目的がある中で、その提言・具体的施策が実効性を持って予算を求める形にまでしていくには経費の面まで考えていく必要があるが、月に1～2回のこの協議の場において、そこまで突き詰めて行けるかどうかは難しい。ただ、取り組みの優先順位や難易度を検討し、とりかかりやすいものから取り組んでいけば、誰ができるか、どのようにできるかといったところまでは考えていけるのではないか
	委員	まちの活性化ではなく、中小企業振興の具体策を検討するための方向性を定めていくことが目的だと認識しているが、まちの活性化を目的とした議論になってしまわないだろうか。
	委員	直接的に中小企業の後押しになる取り組みだけでなく、間接的な目線でも良いと考える。一つの取組で全てが潤うということはなかなか難しい。地道にやっていくしかないだろう
	委員	道の駅、“交流の基地“を作ることがこの部会の

		<p>目的としていたが、建物を建てるとなると、大きな話になってしまうため、まずは公共施設などをPRの場に活用できないだろうか。</p>
	委員	<p>道の駅をやりたいという気持ちは持っているべきだろう。あとは、取りかかる順序として、すぐにそこに取りかかるべきかという話である。もちろん、いきなりそこを目指すことも選択肢としてあるだろうが、手順を踏まずに一步目から目指して挫折してしまうと、夢のままで終わってしまうという意見もある。</p> <p>他方、他の自治体では道の駅を作るという夢を叶えている。後回しにしてしまっているのだからかという懸念もある。</p>
	委員	<p>商工会議所でも道の駅の設置に関する取組を行っている。縦割りではなく観光協会なども交えて、市内が連動した形で検討を進められないだろうか。目標が一つならば、具体化させていくためにも全体が力を合わせるべきだ。登別商工会議所や登別温泉地区で取り上げられている道の駅に対する議論の内容・状況を聞くことはできないだろうか。</p>
	委員	<p>温泉街では、温泉街のまちづくりの検討という狭い中で行っている議論であり、他の地域の道の駅の話にまで波及していないことが考えられる。</p>
	委員	<p>商工会議所の中で行われている議論については、参画している方が協議会委員の中にもいる。話を聞いてみてもいいだろう。</p>
	委員	<p>年間300万人の観光客が来る登別であれば、ニセコや伊達のように採算性のある道の駅になるだろう。NPO法人を立ち上げるなど、誰かが主体となる必要がある。誰が担うのだろうか。</p>
	委員	<p>姉妹都市の神奈川県海老名市のサービスエリアは日本一の売上を誇っている。登別からも度々視察に行っている方もいる。</p>
	委員	<p>外国では、日曜の朝に屋外で市場などが開かれている。大々的に建物を建設するだけでなく、そ</p>

		のような取り組みも可能ではないか。
	委員	最終的な理想としては、全天候型で食事も楽しめる施設があればよい。登別の場合は年間降水量が多いので、雨でも集客ができる工夫が必要である。
	事務局	本日はこれで終了します。お疲れ様でした。